





## アンケートありがとうございました


落ち葉が風に舞う季節となりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、10月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をたくさんいただきました。（回収率 89.4%）いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。


今回のアンケート結果につきましても昨年度と同様に、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似かよっているのかを紹介させていただきます。

A=できている 

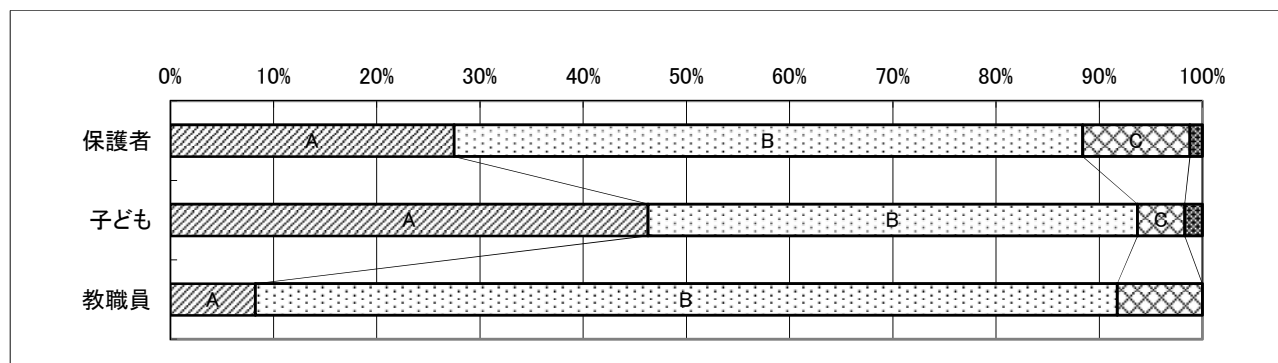
B=どちらかといえばできている 

C=どちらかといえばできていない 

D=できていない 

（無=無答） 

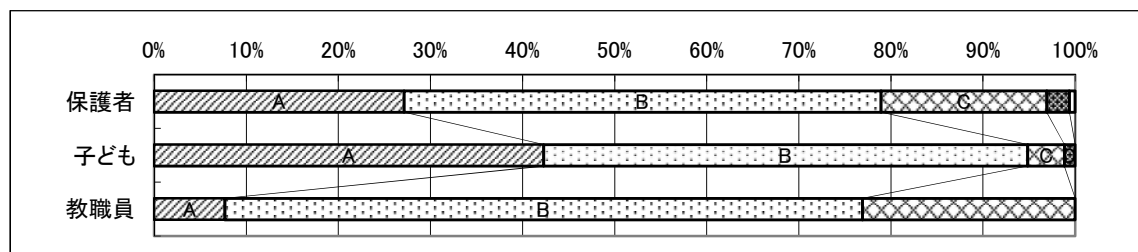
- ① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。（保護者）  
 毎日の授業はよくわかる。（児童）  
 教材研究・教材作成に努め、一人一人に分かる授業を工夫している。（教職員）



昨年の前期と比べて、保護者と児童の数値はほぼ変わりません。そんな中、教職員の数値が上がっています。これはコロナの影響で、授業日数が減り、いかに限られた時間の中で、子どもたちの学力を向上させる授業を展開していけばよいのか、単元計画や教材研究を工夫した結果が表れています。

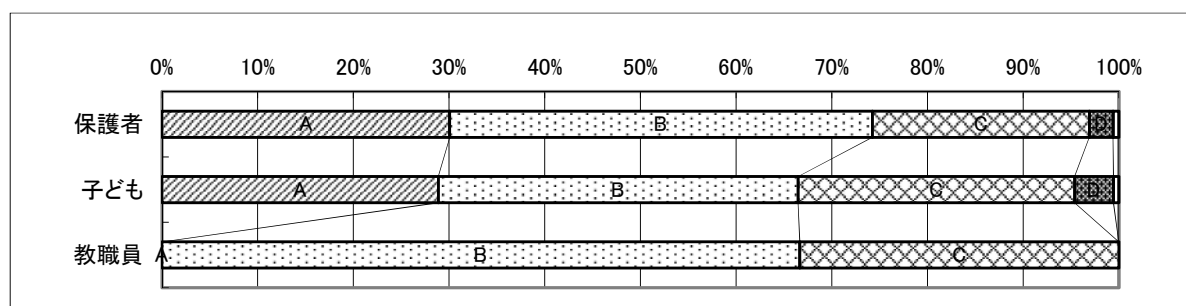
また、今回、家庭での学習の大切さが改めて再認識されたと思います。今後も、学習内容を定着させるために、保護者の方のご協力をよろしくお願いいたします。

- ② 子どもは人の話をしっかり聞いている。（保護者）  
 授業中人,の話をしっかり聞いている。（児童）  
 子どもたちはしっかり話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。（教職員）



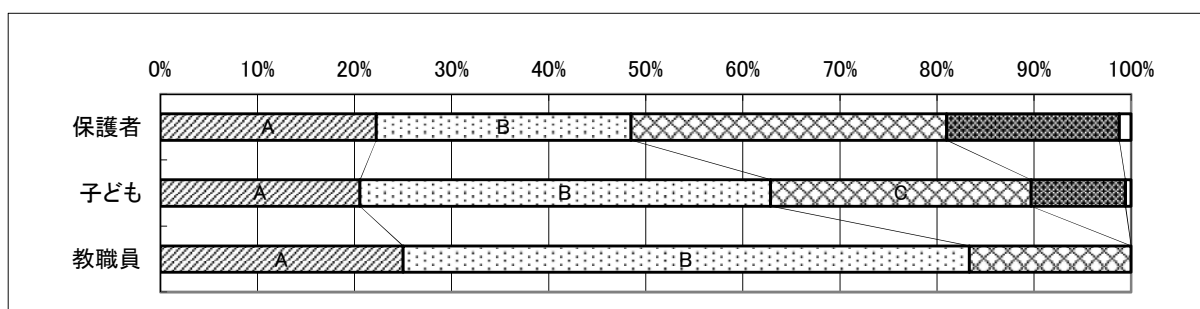
昨年の前期と比べて、保護者と教職員の評価が下がっています。子どもたちにとって、例年に比べて休みが多く、また、学校開始が大幅に遅れたことが影響しているのかもしれませんが、「聴く力」は学習の基礎となる力なので、後期の学習でしっかりと身に付けていけるようにしていきたいと思います。

- ③ 子どもは思ったことや考えたことを発表している。人に話している。（保護者）  
 自分の思ったことや考えたことを発表している。（児童）  
 子どもたちは相手に伝わるように自分の考えや思いを発表できている。（教職員）



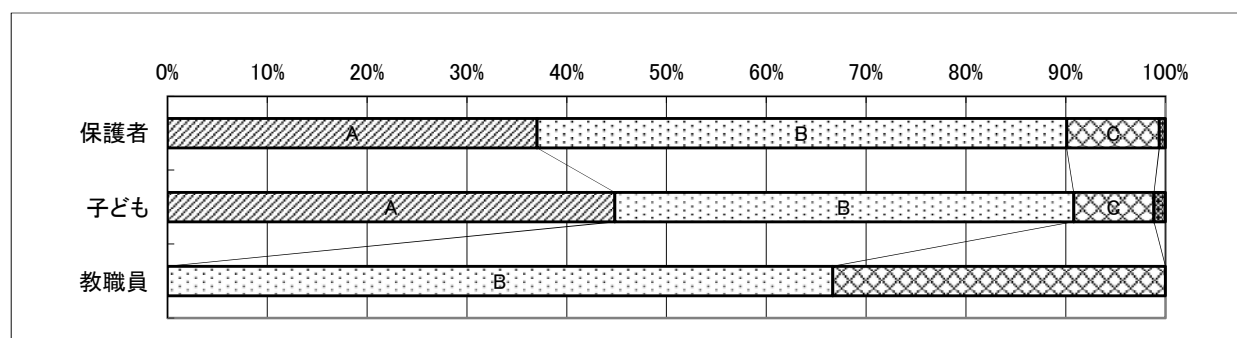
昨年の前期と比べて、保護者、児童、教職員すべての評価が下がっています。一つには、授業展開の問題があります。今年度は特に、限られた時間で、学習を進めていく必要があります、例年と同じような、じっくりとした話し合い活動を取り入れる回数が確保できないということがあります。また、自分の意見や思いをみんなに話すためには、安心して話せる学級の雰囲気と、自分に自信が持てることが大切です。引き続き、子どもに寄り添う学級経営と子ども自身が自己肯定感を感じることができる取組を進めていきます。

- ④ 子どもは家で本を読む習慣がある。（保護者）  
 家でも読書している。（児童）  
 おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになっている。（教職員）



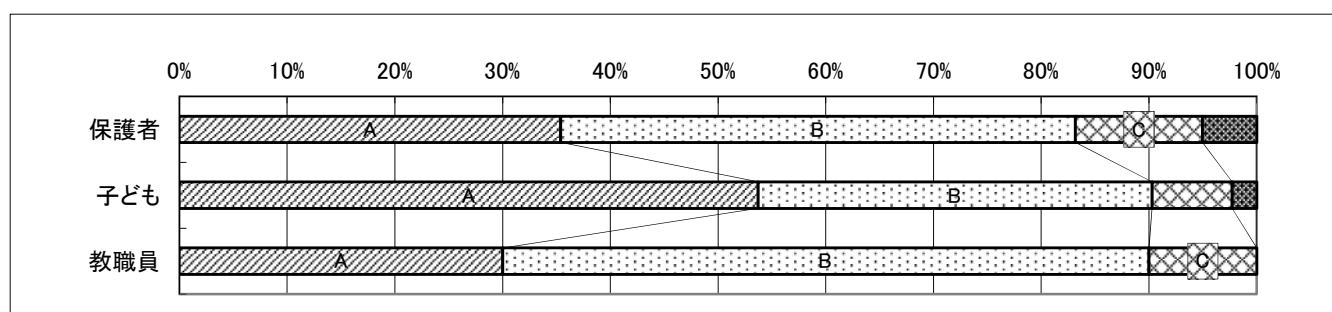
昨年の前期と比べて、全体的にあまり変わっていませんが、低い評価であることが気になります。SNS やゲームなど、映像や画像を見ることが主流になり、受け身な状態は大人であっても一緒です。ただ、読書は思考力、想像力、発想力を培う上で、とても大切な営みです。学校でも、図書館利用やお話玉手箱などの取組を進めています。ご家庭でも、子どもたちと一緒に読書の時間を少しでも作っていただけたらと思います。

- ⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。(保護者)  
家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。(児童)  
家で宿題や復習などができている。(教職員)



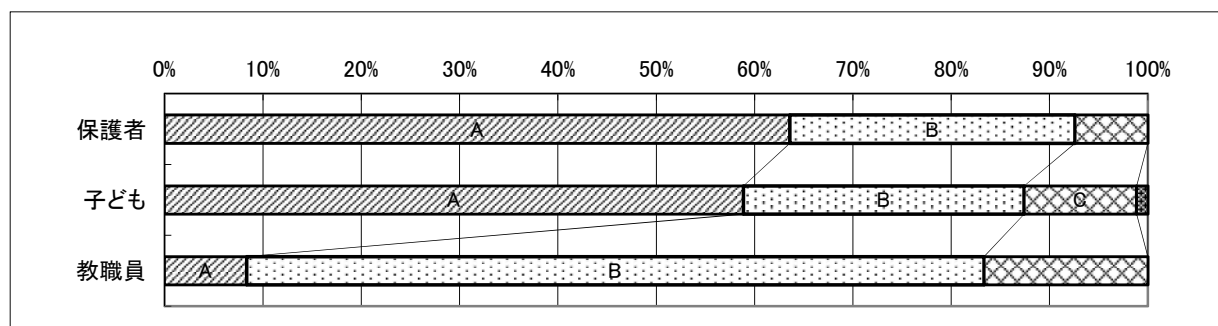
昨年度と同様に、教職員の評価が子ども・保護者より下回っています。「丁寧にやりきる」姿に双方のずれがあるようです。授業では、友達の意見を聞き、友達と話し合いながら新しい考え方を学んでいきます。そのため、基本的に授業時間で行う問題数はとても限られています。完全にその新しい考えを身に付けようと思えば、類似問題をたくさん解くことが必要です。そういう意味で、家庭学習は、学力の定着を図るためにとても大きな役割を果たしています。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

- ⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。(保護者)  
次の日の準備をきちんとできている。(児童)  
子どもたちは忘れ物をせず、学習の用意ができている。(教職員)



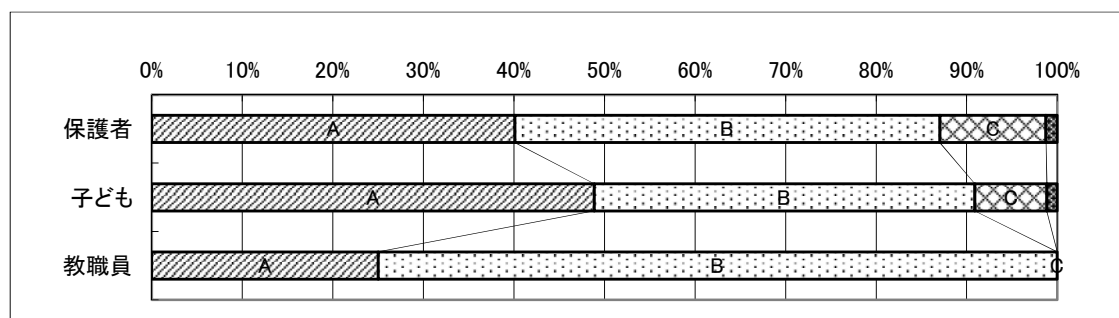
昨年の前期と比べると、教職員の評価が上がっています。多くのご家庭で、学習の準備をしっかりといただいていることがよくわかります。忘れ物があると、学習に支障をきたします。また、自学自習の観点でも自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。

- ⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。(保護者)  
 毎日の学校生活が楽しい(児童)  
 子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。(教職員)



昨年の前期と比べると、児童と教職員の評価が下がっています。教職員にとっては、日によって登校しにくい子どもがいることが数値に表れていると思います。楽しくないと感じている子どもの気持ちを受け止め、その子の困りを解決していく取組を進めていきます。

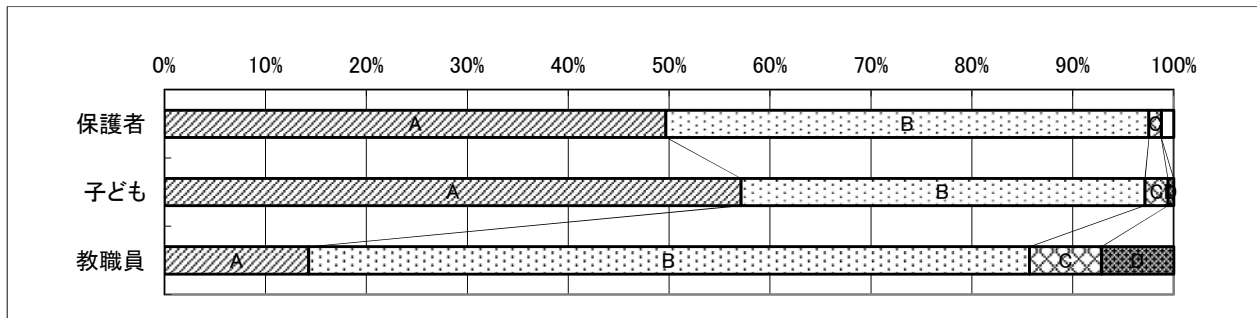
- ⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。(保護者)  
 学校や学級のきまりや約束を守っている。(児童)  
 子どもたちは約束や決まり事を守っている。(教職員)



昨年の前期と比べると、全体的にあまり変わっていません。約束や決まりを守ることは、落ち着いた学校生活を送る上で、欠かせません。また、将来、社会の規範を遵守する態度につながります。ご家庭でもきめ細かくご指導いただきありがとうございます。

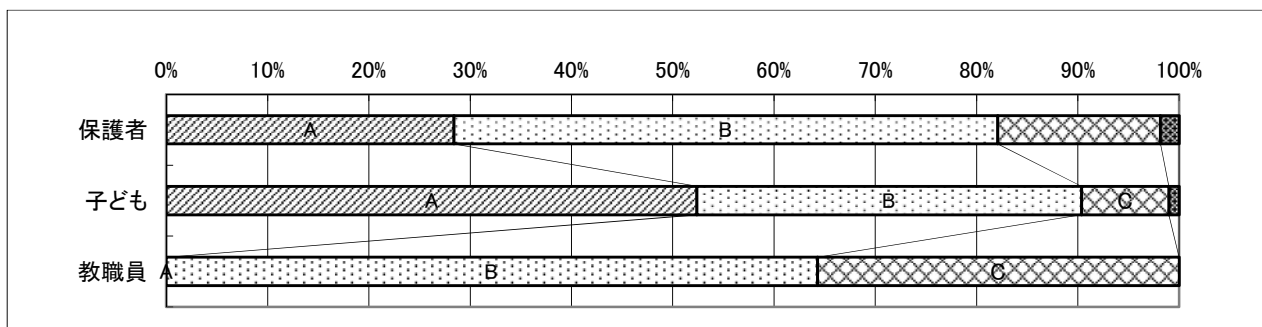


- ⑨ 子どもは友達に優しくできている。(保護者)  
 優しい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)  
 いじめや仲間外れのない学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)



昨年の前期と比べると、教職員の評価が下がっています。また、3者とも少数ですが、「C」や「D」評価がついています。学校では、友達の良いところを見つけていくように支援していくとともに、いじめや仲間外れのないクラス作りを今後も継続していきます。

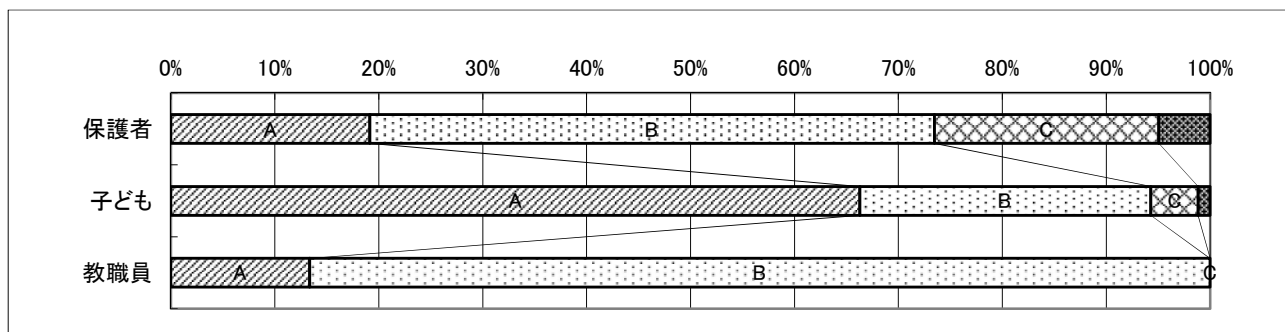
- ⑩ 子どもは自分からあいさつができている。(保護者)  
 友だち、先生、地域の方に自分からあいさつしている。(児童)  
 子どもたちは元気にあいさつができるようになってきている。(教職員)



昨年の前期と比べると、児童の評価が下がっています。この項目もコロナの関係でスムーズにスタートできなかったことが、多少影響していると思われます。

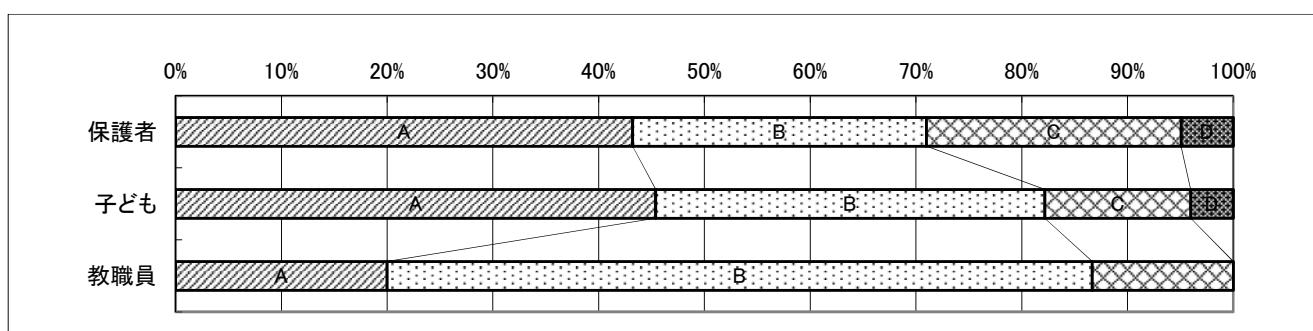
また、登下校時に気持ちの良い挨拶ができているかという点、なかなか自分からしている姿は少ないです。周りの大人が手本を示しつつ、継続的に指導をしていきます。

- ⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)  
 掃除、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)  
 子どもたちは当番活動や係り活動をきちんとしている。(教職員)



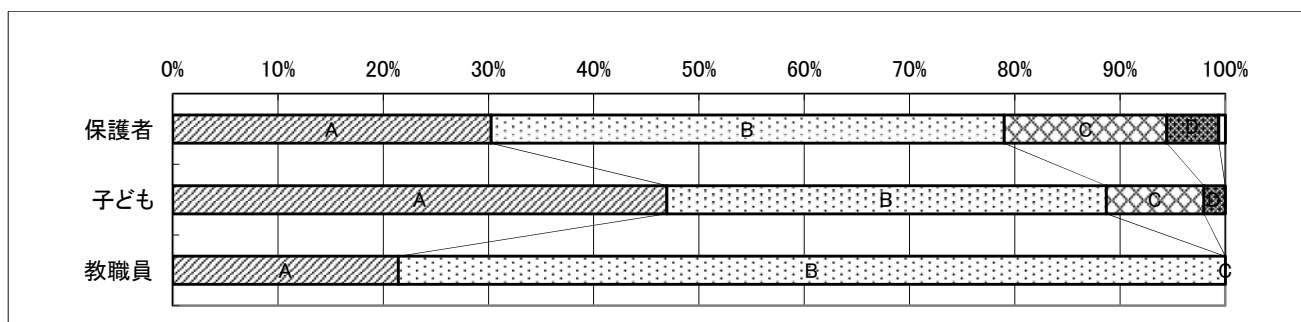
昨年の前期と比べると、教職員の評価が上がっています。保護者の評価は、ほぼ変わりませんが、約4分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。家のお手伝いは、家族の一員としての意識を高めるとともに、人のために行動することの心地良さを育てます。タイミングの良い声かけや誉め言葉で、ぜひ子どもたちの意欲を高めていけるようお願いいたします。

- ⑫ 子どもは、放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)  
 進んで外で体を動かしている。(児童)  
 体力向上の取組を進めている。(教職員)



昨年の前期と比べると、教職員の評価が下がっています。これは、新型コロナの関係で、部活動など運動を制限されたことも影響しています。体育の授業でも、密を避けるために単元の入替えをしている現状です。ただ、子どもたちは、休み時間をととても楽しみにしており、元気に運動場で遊ぶ姿をよく見かけます。制限のある中ですが、子どもたちが意欲的に運動できるよう取り組んでいきたいと思います。

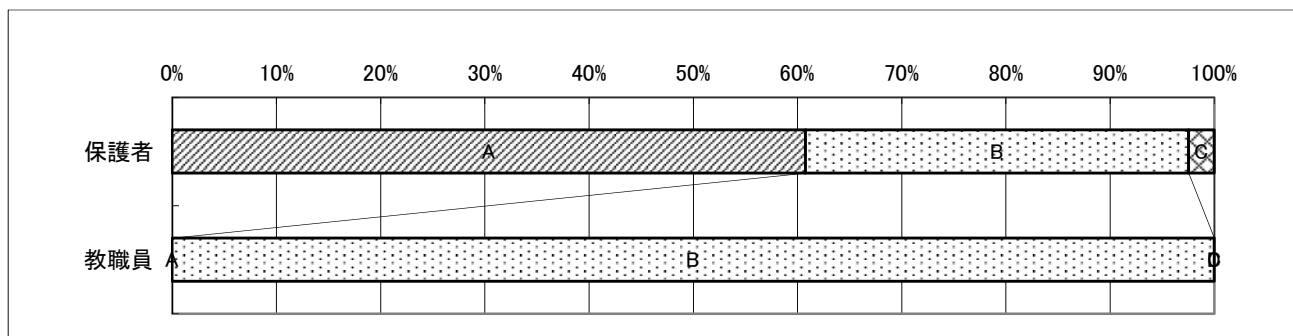
- ⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。(保護者)  
 好き嫌いなく楽しく食事をしている。(児童)  
 給食についての指導が計画的にできている。(教職員)



昨年の前期と比べると、全体的にあまり変わっていません。今年度は、臨時休校により給食開始が遅く、コロナウィルスの感染防止のため、給食に関する衛生管理面もこれまで以上に厳しいものとなりました。前を向いて講義形式の形で喫食するため、楽しく給食を食べることが難しい中でしたが、各担任が適切な指導・支援をした結果、給食を残さず食べている児童がほとんどです。給食を好き嫌いなく楽しく食べられるように、引き続き取り組んでいきます。

⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。(保護者)

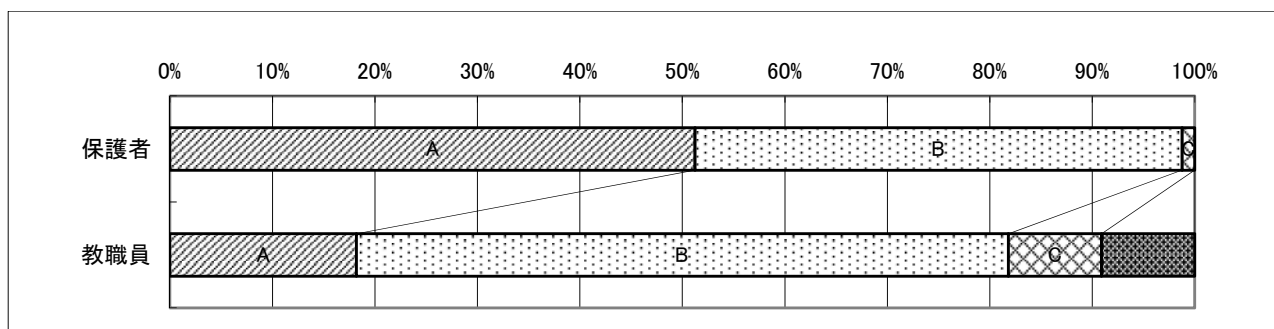
子ども・保護者の思いや願いを受けとめ、気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



昨年の前期と比べると、全体的にあまり変わっていません。ただ、教職員の「A」の評価が減っています。この項目は、子どもたちや保護者が安心して学校生活を営む上でとても大事なところ。今後も、子どもたちの良いところを伸ばし、気になることを共有するためにも、気にかかることがございましたら、ぜひご相談くださいますようお願いいたします。

⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。(保護者)

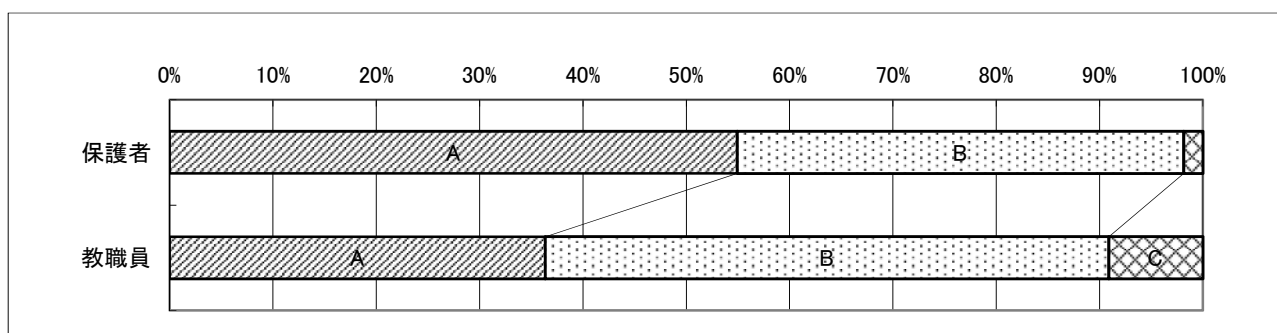
子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



昨年の前期と比べると、教職員の評価が下がっています。学年によって「実践力」の面で課題が見られました。多くの児童がやさしい気持ちを持っているのですが、いざ実践するとなるとその行動に物足りなさを感じてしまいます。子ども一人一人の様子をよく観察し、タイミングの良い声かけや賛辞を行い、実践力を伴う思いやりのある優しい心を育てていきます。

⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、ホームページなどでよくわかる。(保護者)

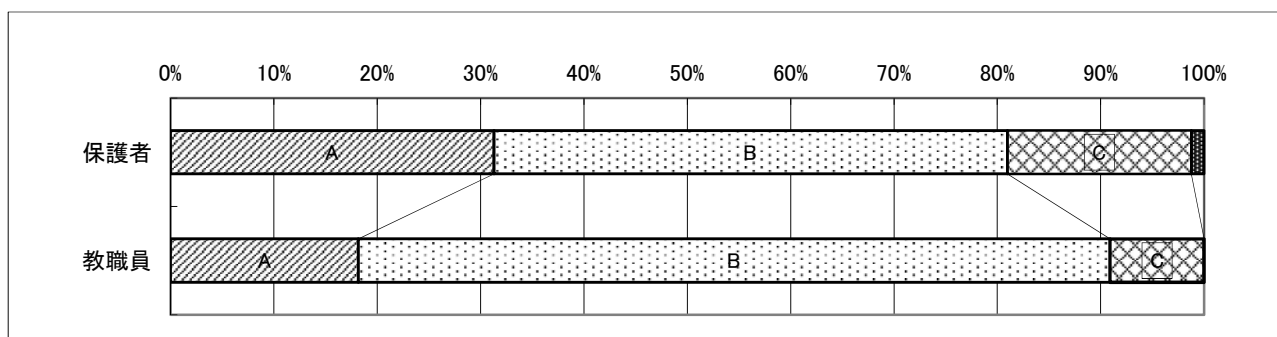
学校情報の発信ができています。(教職員)



昨年の前期と同様、保護者の評価に比べて、教職員は十分に伝えきれていないと思っています。ホームページでは行事をはじめ、日常の授業の様子などを、今後もより一層伝えていきたいと考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

⑰ 学校行事やPTA行事等に参加するようにしている。(保護者)

様々な取組や行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている。(教職員)



昨年の前期と比べると、教職員の評価が下がっています。これは、新型コロナの関係で、行事が縮小したことに関係します。制約の多い中、「地域の子どもは地域で育てる」ということを大切に、学校とPTA・地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。

アンケートには、保護者の方々からコメントをいただいております。ありがとうございました。学校での子どもの成長を感じられていることや子どもへの指導についてのお褒めの言葉などの半面、教員の言葉使いや学校の各取組への改善点もご指摘いただきました。

コメント頂いた内容については、学校の教職員全体で周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきたいと思っております。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後ともご協力下さい。

ご意見をお聞かせいただけると、学校の教職員も日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

## R2 前期学校評価 保護者コメント

- ① 休校期間があつて学習が遅れた分、学校や市として、すべての学習内容を終える予定なのか、それとも、学習できない内容が出てくるのかなど、お聞きできる機会があると、保護者として安心できます。



→丁寧な説明ができておらず申し訳ございません。京都市全体として、授業時数確保のための夏休み冬休みの短縮、7 時間目までの授業枠確保などに取り組み、学習内容はクリアできるようにしています。本校でも順調に遅れを取り戻し、10 月下旬で学習進度はほぼ追いついている状況ではあります。しかし、40 分授業にしている関係から、練習問題や子どもたちが練り上げる時間が少しずつ少ないことも事実です。子どもたちの理解度、定着の具合を点検しながら、じっくり時間をかける部分と、家庭学習にゆだねる部分が出てくるかと思いますが、当該学年の学習内容は年度内にすべて終える予定です。思いがけず学級閉鎖などがあっても対応できるよう、少しずつ早めに学習を進めたいと思います。お子達の学習状況で心配なことなどありましたら担任までご相談をお願いします。

- ② 放課後の見守り当番をされていて気づくのは、自分の子も含めて挨拶をする子が少ないということです。帰りはほっとして友だちと楽しく帰る子も多いので、表面的なことだけで判断はしたくないですが、年配の方々には失礼をしていることは申し訳ないです。

→朝や放課後の見守りありがとうございます。確かに挨拶をしない子どもたちが多いことは気にかかります。地域の方たちの集まりでは、「知らない人には話さないように言われているのかな」「こちらからしつこく声をかけ続けることも大事ですね」などのお話をしてくださっています。私たち大人がお手本を示したり、ご家庭で挨拶の大事さを話題にしてくださったりしたら助かります。学校でも指導していきたいと思います。

- ③ アンケートなのに記名の必要があるか疑問に思います。

→毎回いただくご意見です。保護者の皆さんのお考えを真摯に受け止める意味で記名にさせていただいています。ご意見によっては、個別に説明させていただいたり、広く全保護者にお知らせさせていただいたりしたいと思います。記名で提出いただきありがとうございます。

- ④ コロナ対策が大変だと思いますが、いろんな行事がなくなり、子どもたちの楽しみが減り、地味にストレスを感じていそうです。何か代替行事など、考えていただけたら嬉しいです。

→子どもたちの様子を見てみると本当に頑張っていると思いますし、子どもたちの元気な笑顔に大人が励まされている時もあります。運動会、学習発表会も3密にならないように気をつけ、子どもたちをより間近に見ていただくことを考えて実施させていただきました。全校遠足はいろいろな問題をクリアしながら実施したいと思います。放課後少しの時間ではありますが、運動場に残って遊ぶ子が多いように感じています。日常のクラス遊びなど、少しでも楽しい時間を作るよう努力していきたいと思います。

- ⑤ 女子更衣室には、換気機能がありますか？

→ご指摘ありがとうございます。修理が必要な状況だったのですぐに直しました。また、国からのコロナに関する補助金で教室に空気清浄器を購入しました。これから寒くなりますが換気をしながら暖房していきます。下着やジャンパー、ひざ掛けなど子どもたちの体調に合わせて防寒の工夫もお願いします。

- ⑥ 学校だより→HP掲載で十分です。紙はいりません。要望というかシステムの問題だと思いますが、

先生方の雑務（例えばアンケートもメールで配信返送集計も何か市のシステムを利用して機械で集計するなど）本来の業務により集中できるようになればと思います。

→HP も見ていただきありがとうございます。広く地域の方などにも学校を知っていただくという意味で紙での学校だより配布を続けています。学校からの配布物が多いこともご意見いただいています。できる限り減らせるようにはしていきたいと思っています。また、働き方改革を京都市全体としても進めています。上記のようなご意見を伝えていくとともに、本来の業務にさらに集中できるよう努めていきます。

⑦ 人権学習をメインとした懇談会でも普段の子どもたちの様子を先生から聞かせていただきたい。  
→どの懇談会でも子どもたちの様子をお伝えするようにしているのですが、今回については時間短縮を担当にお願いしていたので普段の様子をあまりお伝え出来なかったのかもしれませんが。申し訳ありません。個別のご家庭への連絡や学級だより、HP で子どもたちの様子をできる限りお伝えしていきますので気にかかることなどあればぜひ気軽に担任に声をおかけください。

⑧ 最近、学校に登校できない子がいることが気になります。まなぶ機会が失われないことを願っています。

→ご心配いただきありがとうございます。様々な理由で登校しぶりや、保健室で学習する児童がいます。本校だけではなく、全市的にも増えてきています。理由やきっかけを丁寧に聞き取り解消に努めるとともに、学ぶ機会を保障できるよう、全校で対策を考え保護者の方と連携をとっていきます。

### 学校運営協議会の理事の方からのご意見

○コロナの影響で、授業の遅れが気になっていたが、時数的に確保できていると聞いて安心した。  
ただ、しっかりと定着を図るために、学校は授業の工夫を、各家庭は定着のために家庭学習の習慣化が必要だ。

○いじめについては、「いじり」と「いじめ」の境界が難しいと感じた。

○道徳の授業の中で、いじめに対する教師の思いや基本的な考え方を子どもたちにまず伝えるべきではないか。

○地域と学校が強く連携して、子どもたちを見守り、育てていきたい。

○子どもたちは、もめる中で成長していく部分も大きい。どのように問題を解決していけばいいのかを考えさせたり、学ばせたりしないといけないのではないか。

○コロナの影響で、運動も制限があるが、学校や地域で取組みを工夫して設定し、子どもたちへ運動の場を提供していきたい。